

## 音響・照明科

## 照明エンジニアコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習		-
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習		-
専門科目	ムービング&LED照明実習Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	ムービング&LED照明実習Ⅱ		38	必修	実習	○	38
	照明実習Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	照明実習Ⅱ		76	必修	実習	○	76
	映像機器基礎	20		必修	実習	○	20
	DAW実習Ⅰ	20		必修	実習	○	20
	PA音響実習Ⅰ	36		必修	実習	○	36
	照明基礎知識	38		必修	実習	○	38
	色彩学	38		必修	講義		-
	音楽基礎理論Ⅰ		18	必修	講義		-
	ポピュラー楽器基礎学Ⅰ		20	必修	講義		-
	Light Converse (L8) 実習		38	必修	実習	○	38
	舞台機構調整技能Ⅰ		46	必修	実習	○	46
	機材メンテナンス実習	19	19	必修	実習	○	38
	イベント実習	38	38	必修	実習	○	76
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		859				合計
卒業時最少時間		1815					578

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2019年度例) エイバックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む          基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(こは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。          検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望:Ⅰ【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。          科目数は毎年約30科目ほどである。          各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」等</p>

# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。                  アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」 等

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」 等

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	305	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」「A-STAR artist actors studio」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ムービング&LED照明実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 武治		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明業界において想像力豊かな発想力と技術を実際に機器に触れながら身につける</li> <li>・校舎にあるライブハウスで実際に照明をプランし、オペレートをする</li> <li>・様々なジャンルの音楽やダンスに対応できる素早いプラン力と技術を習得する</li> <li>・私が教える事はあくまで一個人の意見でしかありません。演出照明は各個人の発想力だけで無限の可能性を持っています。正解はありません。そこが一番この仕事の楽しいところです</li> <li>ただし、演出しすぎて演者よりも照明が前に出てはなりません。そういうところも学んでもらえればと思います</li> </ul>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Live House「SHOW!CASE!!」の照明を点けてみよう まずはここにある照明でどんな事が出来るのか見てもらい実際に調光卓に触ってみる
2	Live House「SHOW!CASE!!」にある照明の設備とライトの種類と取り扱い方を学ぶ
3	Live House「SHOW!CASE!!」にある調光卓(Pearl 2004)と今業界で使用されている調光卓の類似点と相違点の説明をしながら実際に触ってみる
4	調光卓の操作① 各部の様々なボタンの名称と機能を覚える
5	調光卓の操作② 明かりを記憶、修正、複製を出来るようにする
6	調光卓の操作③ チェイスの種類と操作方法と修正を覚える
7	調光卓の操作④ エフェクトの種類と操作方法と修正を覚える
8	調光卓の操作⑤ 作った明かりにタイムをかけて操作できるようにする
9	調光卓の操作⑥ パレットとグループを使用し、実際に使用するのとしないのでは、どれだけ明かりを作る時間が違うのかを実感してもらう
10	Pearl2004をより詳しく知り初期状態から各現場に合わせた設定をするための知識 システム設定
11	一般照明のパッチの仕方
12	ムービングやLEDなどのフィクスチャーのパッチの仕方
13	実際に卓を初期設定に戻しそこから今の状態にしてみるための準備と知識
14	実際に卓を初期設定に戻しパッチして点灯してみる
15	パレットの作り方
16	自分が早くプログラムするための自分専用パレットとグループを考えてみる
17	実際にパレットとグループを作り自分専用の基本データを作る 1
18	実際にパレットとグループを作り自分専用の基本データを作る 2
19	パレットとグループを使って明かりをプログラムしてみる

教科書等	無し
成績評価	2限目1人ずつ実際に触ってもらい何処まで理解しているのかを判断50%、授業態度50% (基本1限目は説明) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2003年より新潟照明技研株式会社で照明エンジニアとして活躍 現在舞台照明課 係長

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ムービング&LED照明実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 武治		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明業界において想像力豊かな発想力と技術を実際に機器に触れながら身につける</li> <li>・校舎にあるライブハウスで実際に照明をプランし、オペレートをする</li> <li>・様々なジャンルの音楽やダンスに対応できる素早いプラン力と技術を習得する</li> <li>・私が教える事はあくまで一個人の意見でしかありません。演出照明は各個人の発想力しだい無限の可能性を持っています。正解はありません。そこが一番この仕事の楽しいところです</li> <li>ただし、演出しすぎて演者よりも照明が前に出てはなりません。そういうところも学んでもらえればと思います</li> </ul>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	一般照明だけで明かりを1曲考える
2	明かり作り 1名サポート 他が舞台上でアーティスト役
3	音を流してオペレート 半分は舞台上でアーティスト役
4	一般照明とムービングとLEDの明かりのバランスを考える
5	一般照明とLEDとムービングを織り交ぜ明かりを1曲考える 同じ曲
6	打ち込む
7	オペレート
8	スモークなしでムービングとLEDも使って明かりを作ってみる
9	基本となるベースパターンとなる明かりを作る
10	自分が考えた明かりをほかの人にやらせよう 1曲明かりを考える
11	明かり作り オペレート用のQシートを作り プランした人はもう一人に打ってもら 他の人はやらせよう人ときかけの確認 1
12	明かり作り オペレート用のQシートを作り プランした人はもう一人に打ってもら 他の人はやらせよう人ときかけの確認 2
13	明かり作り オペレート用のQシートを作り プランした人はもう一人に打ってもら 他の人はやらせよう人ときかけの確認 3
14	明かり作り オペレート用のQシートを作り プランした人はもう一人に打ってもら 他の人はやらせよう人ときかけの確認 4
15	音を流してリハーサルと想定して曲をかけながら修正する 1 何人かは舞台上でアーティスト役
16	音を流してリハーサルと想定して曲をかけながら修正する 2 何人かは舞台上でアーティスト役
17	音を流してリハーサルと想定して曲をかけながら修正する 3 何人かは舞台上でアーティスト役
18	修正を終えてまた音をかけて一人ずつ発表する 何人かは舞台上でアーティスト役
19	2年間のまとめとこれからの話をする

教科書等	無し
成績評価	2限目1人ずつ実際に触ってもらい何処まで理解しているのかを判断50%、授業態度50% (基本1限目は説明) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2003年より新潟照明技研株式会社で照明エンジニアとして活躍 現在舞台照明課 係長

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>前期:照明操作卓(調光卓)、スポット、ケーブル等に親しみ、その操作方法・扱い方を学びながら、舞台照明そのものを学ぶ。基本になるのは安全である。(照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコース対象)</p> <p>後期:学生にとり、全てが新しい内容であるため、前期の内容を復習しつつその内容を深めていくことを目的とする。(照明エンジニアコース対象)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Studio「Practice」の説明 吊り込み用器具:安全にスポットを吊り込むために、ハンガーに親しむ
2	レンズによる光の質の違いをみる
3	Practiceに設備されている機材の説明
4	Practiceの調光卓(Express 48/96) / ユニット / 回路の説明
5	サブマスタに シーン/チェイス記憶 ・修正を習得する
6	"
7	"
8	平凸・フレネルレンズを使用したスポットライトを使い光軸調整を習得する
9	舞台・テレビジョン照明現場において使用されるカラーフィルターを覚えよう
10	Effect(雪・雨・雲・ストロボ・ソースフォー)を仕込む
11	バトン仮設、サสบトンに見立てスポットを仕込む
12	"
13	ステージ回路を仕込む
14	"
15	Express サブマスター記憶
16	"
17	電源・電圧計算／実測 照度計算／実測
18	照明とデジタル信号
19	Grand Concertに向け、会場の明細説明

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

照明エンジニアコースのみ対象

教科書等	無し
成績評価	<p>前期:美しい光を得るため、平凸レンズ・フレネルレンズを使用したスポットライトでの、光軸調整の成果をみる／後期:調光卓(Eexpress 48/96)のサブマスターに、シーン/チェイスを記憶できること、修正できること、以上2点を見る 50%</p> <p>前期後期ともに:授業態度および学習意欲・主体性 50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍</p> <p>現在新潟照明技研株式会社 専務取締役</p> <p>舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定</p> <p>公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	76
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>1年時に習得した内容をより深いものにするため、前期・後期に分割せず通年の指導とする          本来ならば劇場。ホールに設備されているサスペンションを降ろし、仕込み図を読みながら正しいスポット・位置に吊り込み、カラーを入れ、バランスを考え、サスペンションを飛ばす作業になるが、この機構が無いためバトンを仮設して、近い作業を行う。ステージの仕込みに関しては劇場・ホールに近い内容を行える。タツパが無いため、操作棒の使用は限られる。          これらすべて安全を考慮し作業を教える。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	調光卓ETC Express 48/96を使用、Cue記憶の確認
2	"
3	イントレにバトンを仮設、スポットを仕込む
4	Effectを仕込む これまでの経験で、最大のウイークポイントとみている為、何度も繰り返す
5	仕込み図を読む
6	"
7	バトン仮設、スポットを仕込む
8	"
9	"
10	Effectを仕込む EQS-10・EDM・ESM・ESC・OL4-6・SF-4
11	ステージ回路の仕込み
12	"
13	"
14	調光ユニット、アナログ・デジタル
15	"
16	デジタル回路を深める
17	課題に対するプランニング
18	"
19	課題：試験

教科書等	無し
成績評価	<p>課題をあたえ、プランニングしたものをExpress 49/96のCueを使用し再生する能力50%          授業態度・知識力および主体性50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍          現在新潟照明技研株式会社 専務取締役          舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定          公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像機器基礎		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	全コース

授業概要	音響・照明だけでなく映像機器の接続や再生に関わる知識を身に付けることを目的とする。例えばホテルの宴会場やホール等で、講演会や披露宴などが行われた際の機器の接続、持ち込みメディアの対応、パソコンの接続(ファイル形式等の対応)、映像投影機器の調整など作業が音響・照明スタッフが行うこともあるため、このような授業を設ける。また、映像と共にある音声についても触れていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション:音響・照明と映像のかかわり、現代の映像について 映像の解像度とフレーム数、アスペクト比について
2	音声メディアと、映像メディア、テープの仕組み、ディスクの仕組みについて コピー防止のための仕組み、「-R」、「-RW」等について
3	アナログ/デジタル音声伝送方法とアナログ/デジタル映像伝送方法 クロック、同期、ジッタについて
4	映像レーテンシーについて(ビデオカメラを使っての実習) 映像切り替えについて(スイッチャーを使った実習)、クロマキー、Pict in Pictなどの特殊効果について
5	パソコン等でのファイル形式について(音声・映像) 非圧縮・ロスシー圧縮・ロスレス圧縮について
6	サラウンド音声、イマーシブ・オーディオについて
7	サラウンド実習(サラウンドシステムを組み、映画等を比較してみる)
8	接続実習(Win, Mac, DVD等をプロジェクタ、モニター等へ接続してみる) プロジェクタ、モニター等の設定等も
9	PC接続:インターフェイス、USB、Thunderbolt等について
10	まとめ / 筆記テスト

教科書等	無し。
成績評価	筆記テスト60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DAW実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース／照明エンジニアコース

授業概要	音響操作の中で、編集した音源が必要な場合や、楽曲を聞き込むうえで波形で見ながら再生するなど活用さまざまな活用方法の出来るDAWを使い、簡単な編集が行えるようになることを目的とする。この科目では各自のパソコンにAvid「Pro Tools   First」(Windowsの場合はASIO4ALL)をインストールし、授業外での個人使用も出来るようににする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明 DAWとは／Pro Toolsと他のDAWとの違い／Pro Toolsの種類 Pro Tools First、ASIO4ALLのセットアップ確認
2	起動～新規作成(クラウドバックアップは使用しない)／新規トラック作成・削除／音源データのインポート／編集・ミックス ウィンドウ／再生・停止／「挿入位置は再生に従う」(Nキー)説明／英語・日本語入力について／終了の仕方
3	トラック名／簡単なミックスウインドウ操作(ボリュームフェーダー／ソロ／ミュート) 編集ウインドウにおいて:クリップとは／時間軸の拡大・縮小／トラックの高さ・名前・色(クリップも)
4	編集ツール(セレクト／グラバー／トリム／スマート)／編集モード(スリップ／グリッド／シャッフル)／ショートカット:取り消し／やり直し／頭に戻る／カット／コピー／ペースト／クリップを分割／複製／繰り返し
5	楽曲の編集練習(短くする・ループする・フェードイン・フェードアウト・2曲のクロスフェード)① マーカー(メモリーロケーション)について
6	楽曲の編集練習(短くする・ループする・フェードイン・フェードアウト・2曲のクロスフェード)② 編集ウインドウのスクロールについて
7	エラスティックオーディオについて(オン・オフ／リアルタイムとレンダーの違い)／拍子とテンポの設定／タップテンポ／エラスティックを使ったテンポの変更
8	楽曲の編集練習(テンポを合わせての編集)① ループプレイバックについて
9	楽曲の編集練習(テンポを合わせての編集)② オーディオミックスのエクスポートについて
10	期末課題／提出

教科書等	教材は特になし。 各自パソコンとイヤホン(又はヘッドホン)を持ち込んで行う (各自Pro Tools Firstをインストール、Windowsの場合ASIO4ALLもインストールしておく)
成績評価	授業態度および学習意欲50%、作品クオリティ50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に13年活動中。 Pro Toolsを使用した作曲、編集、録音等も行う。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PA音響実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	富樫 武志		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>基本的な機材の取り扱いと音響システムの概要を理解し、簡易音響セットの仕込みをできるようになることを目標とする。実際に現場で使用する機材、資料等を使用し即戦力になるような知識、技術を身に着ける。現場で想定される音響以外の要素との連携を意識し、イベント実習やインターンでの対応力を身に着ける。(PA音響エンジニアコースと合同授業、後期はPA音響エンジニアコースのみの授業とする)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	学校内のライブハウスでの音響セットの仕込み方 ①音源で疑似ライブのミキシングを行い学生生活の最終的な目標を確認する ②1年次の目標の簡易音響セットを組んで見せ一年の目標を確認する ③主な用語の解説
2	音響機材の扱い方について学ぶ ①ケーブルの巻き方、スタンドの立て方を学習する ②機材を扱うにあたっての注意点の説明
3	電気信号の流れについて学ぶ ①マイクレベル、ラインレベル、スピーカーレベルの考え方について学習 ②機材のインプット、アウトプットについて学習 ③SHOWCASEでの音の出し方を理解する
4	音響機材の名称、役割を学ぶ ①マイクロフォンの構造・特性について学習 ②ミキサー、グラフィックイコライザー、パワーアンプの役割について学習
5	PAシステムの概要を学習 SHOW!CASE!!と簡易音響システムの概要を学習し、信号の流れと各段階での電気信号の違いを理解する
6	モニターについて学習 モニタースピーカーを使用してサービスエリアごとに適したモニタリングについて学習する
7	ミキサーについて学習 ①M7CL-32を使用して各機能を学習 ②アナログミキサーを使用して各機能を学習
8	カラオケステージをつくる 簡易音響セットでのカラオケ演奏を想定した仕込み、オペレーションを通して一連の作業を理解する
9	<評価週> 実技テストとして簡易PAシステムの仕込みを行う

教科書等	リットーミュージック「PA入門 基礎が身に付くPAの教科書」 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の試験50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年 株式会社サウンドエイトに入社し、PA音響エンジニアとして活躍

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明基礎知識		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>教科書「舞台・テレビジョン照明 基礎編」をもとに照明の基礎を学ぶ。 2年間で以下のことを学ぶ。 オペレートに主眼がいているライブハウスにおけるトラブルの場合それを処理できないことも多い。この授業はスポット・回路・調光システム・カラー等の基礎を学びそれらを知ることにより、正しい使用方法・トラブルに対する方法を理解する。前期は、舞台に関する仕事に就こうとする照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコースの生徒に知っておくべき用語の基礎から教える。後期は照明エンジニアコースの生徒のみ。</p>
------	---

授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など			
1	XIV 舞台用語	照明に関する用語		P185～P192
2	XIV 舞台用語	舞台・美術に関する用語		P185～P192
3	XIV 舞台用語	公演・演出に関する用語		P185～P192
4	IV 1. 舞台機構	1) 舞台の平面と断面		P35～P38
5	"	5) 舞台吊物機構	①幕類用吊物設備	P38～P40
6	"	"	"	P38～P40
7	"	"	②照明用吊物設備	P40～P42
8	"	6) 舞台床機構		P42P～P45
9	2. 舞台照明設備			P46～P50
10	V 舞台における照明の仕事			P51～P58
11	"			P58～P64
12	VI 仮設システムを使った照明の仕事			P65～P71
13	"			P71～P76
14	XIII 照明家に必要な基礎知識			P147～P154
15	"			P154～P161
16	"			P161～P169
17	"			P169～P177
18	"			P177～P184
19	XI 照明機器			P113～P128

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

照明エンジニアコースのみ対象

教科書等	舞台・テレビジョン照明 基礎編(発行: 日本照明家協会)
成績評価	<p>範囲内の筆記試験 70%、授業態度および学習態度・知識欲・主体性30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍</p> <p>現在新潟照明技研株式会社 専務取締役</p> <p>舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定</p> <p>公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	色彩学		実務授業の有無	×
担当講師	李 玟承		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、過去問題集を使い検定合格の為の知識を深める。</li> <li>・景色、音楽、詩集、塗り絵を使い、色の組み合わせを連想させ想像力、感性、表現力をより伸ばす。</li> <li>・人前で発表をし合う事で尊重、柔軟性、コミュニケーション力を伸ばす。</li> </ul>			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	教科書
2	教科書
3	教科書/過去問題集
4	教科書/過去問題集
5	教科書/過去問題集
6	教科書/過去問題集
7	教科書/過去問題集
8	教科書/過去問題集
9	教科書/過去問題集
10	教科書/過去問題集
11	教科書/過去問題集
12	教科書/過去問題集
13	教科書/過去問題集
14	教科書/過去問題集
15	教科書/過去問題集
16	教科書/過去問題集
17	教科書/過去問題集
18	教科書/過去問題集
19	教科書/過去問題集

教科書等	公益社団法人色彩検定協会「色彩検定 公式テキスト 3級編」、「色彩検定 過去問題集 2018年度2・3級」
成績評価	過去問題集点数80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽基礎理論 I		実務授業の有無	×
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>舞台機構調整技能士3級(国家試験)のための対策として行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器についての知識(弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、雅楽、民族楽器)</li> </ul> <p>※音と名前と写真の一致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック、日本の有名作曲家、代表楽曲を知る</li> </ul>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業説明 「舞台機構調整技能士」とは。試験概要、合格ライン、必要な知識・技術の説明 授業開始時の学生のレベルを知るためのミニテスト実施
2	弦楽器について
3	管楽器について
4	打楽器について・鍵盤楽器について
5	雅楽・民族楽器について
6	クラシック音楽代表作について
7	日本の作曲家について
8	模擬テスト
9	模擬テスト

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」
成績評価	授業態度および学習意欲20%、テスト成績30%、検定合否50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学 I		実務授業の有無	○
担当講師	中野 大輔		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>バンド等で使用する各楽器(ドラム、ベース、ギター等)の理解度を深め、率先して機材セッティングを行えるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。 (この科目は、1年PA音響エンジニアコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<p>■イントロダクション 主要楽器(ドラム・ギター・ベース・キーボード)の紹介</p>
2	<p>■ドラムセット 各パーツの名称・セッティング方法</p>
3	<p>■ドラムセット セッティング実践</p>
4	<p>■ドラムセット セッティング実践</p>
5	<p>■ギター・ベース 各楽器の特性(メーカー・ボディの種類・音色等)</p>
6	<p>■ギターアンプ・ベースアンプ アンプの種類・接続方法等</p>
7	<p>■キーボード 電子ピアノとシンセサイザーの違い・音色・接続方法等</p>
8	<p>■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認</p>
9	<p>■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認</p>
10	<p>■各楽器のセッティング ドラム・ギター・ベース・キーボードのセッティング実践</p>

教科書等	なし
成績評価	<p>最終授業での実践割合50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>秋葉区初の音楽スタジオ「中野スタジオ」オーナー 2015年 Niigata KENTO'S Bandのドラマーに就任 PA音響・ドラム講師・楽曲制作・レコーディングエンジニア等多岐に渡り活動中</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Light Converse (L8) 実習		実務授業の有無	○
担当講師	菅原武治		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今照明業界でなくてはならない舞台演出のシュミレーションソフトを使って実際に灯体や舞台を設営せずにプログラムする</li> <li>・ライトコンバースという今世界で最も使われているシュミレーターソフトの使い方を学ぶ</li> <li>・ライトコンバースの仕組みを全員が理解し操作をマスターする</li> <li>・ライトコンバースを使ってそれを実際に使いイベントのプログラムやプレゼンテーションに役立てる</li> </ul>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	シュミレーションソフトはどんなときに使う物なのかを学ぶ
2	実際に起動して触って基本操作を覚える
3	舞台の背景の作り方を学ぶ
4	舞台のセットの作り方を学ぶ
5	作った舞台に照明を仕込む操作方法を学ぶ
6	学校にあるライブハウスを実際に作ってみる(背景と舞台の配置)
7	学校にあるライブハウスを実際に作ってみる(照明器具の配置)
8	夏のイベントのプログラム用に実際にその舞台を作る(背景と舞台の配置)
9	夏のイベントのプログラム用に実際にその舞台を作る(照明器具の配置)
10	シュミレーターで自由に好きな舞台を作る (1)
11	シュミレーターで自由に好きな舞台を作る (2)
12	それを実際に卓でパッチをして動作チェックをする (1)
13	それを実際に卓でパッチをして動作チェックをする (2)
14	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる (ホール作り)
15	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる (舞台作り)
16	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる (照明器具配置)
17	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる (照明のパッチ)
18	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる (実機とリンクしているかチェックする)
19	1年間のまとめ

教科書等	無し
成績評価	テスト50%、授業態度50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2003年より新潟照明技研株式会社で照明エンジニアとして活躍 現在舞台照明課 係長



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	46 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(制作等作業試験)、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に行い進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について
2	学科試験対策(1. 舞台一般)
3	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
4	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
5	学科試験対策(4. 関係法規、5. 安全衛生)
6	実技試験(判断等試験)対策(楽曲・作曲家問題、楽器問題については除く)
7	実技試験(制作等作業試験)対策
8	実技試験(制作等作業試験)対策
9	まとめ(不足箇所重点)
10	学科試験対策(ふりかえり～過去問題)
11	学科試験対策(過去問題)
12	1人ずつ制作等作業試験のテストを行いながら、グループごとに判断等試験のテストを行う
13	1人ずつ制作等作業試験のテストを行いながら、グループごとに判断等試験のテストを行う
14	音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る)
15	音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等)
16	照明基礎① 基礎実習(機材説明、シュート、オペレート)
17	楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説
18	LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成
19	リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル
20	リハーサル② LIVE発表に向けてリハーサル
21	LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハー→本番→バラシの一連の流れをやってみる
22	LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う
23	1年まとめ 感想レポートと授業アンケート

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」
成績評価	<p>前期:試験結果:60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40%</p> <p>後期:技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	機材メンテナンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	全コース

授業概要	<p>校内の機材の管理方法、メンテナンス方法について教えながら授業等で使用している機材のメンテナンスを実際に行っていく。グループを組み、グループごとにそれぞれ作業を行い、1・2年の交流も目的とする。並行してSHOW!音楽エンタテインメントゼミの仕込み作業をしながら班を分けて作業を行っていく。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション：校内機材の扱い・管理について グループ組み SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
2	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
3	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
4	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
5	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
6	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
7	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
8	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
9	機材管理・メンテナンス状況まとめ、提出 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
10	機材管理・メンテナンス作業 グループ組み SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
11	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
12	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
13	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
14	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
15	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
16	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
17	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
18	機材管理・メンテナンス作業 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業
19	機材管理・メンテナンス状況まとめ、提出 / SHOW!音楽エンタテインメントゼミ仕込み作業

教科書等	無し。
成績評価	<p>前期：試験結果：60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40% 後期：技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	全コース

授業概要	オープンキャンパスの準備・リハーサルから本番・撤収を実習内容としながら、インターンシップ等への参加も単位として認め、音響・照明の様々なイベントを評価とする。様々なイベントへのスタッフとして参加し現場経験を多く積むことを目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
2	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
3	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
4	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
5	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
6	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
7	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
8	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
9	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
10	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
11	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
12	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
13	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
14	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
15	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
16	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
17	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
18	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
19	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加

教科書等	無し。
成績評価	インターンシップ参加願及びインターンシップ報告書の提出状況・記載内容、またはオープンキャンパスのスタッフとしての参加状況：100% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格